



会長総括 会長 三宅敏彦

私は、2009年7月に長崎西ロータリークラブ会長に就任させて頂きました。西クラブ設立から25年目の事です。

まず、私がここにいるという入会の動機の事を、少しお話しさせて頂きます。25年前の事です、今は退会された泉さんが勧誘に来られました。まだその当時、外側から見たロータリー

クラブは“お金持ちで暇がある人の集まり”という印象でした。話を聞き会員名簿を見せて頂くと、その中に森信興さんの名前がありました。森さんの人格、ドクターとしての人間性を、前にある人から聞いていましたので、森さんが居られるならと、それが入会する動機となりました。またもう一つは、入会して数週間後気づいたのですが、私が独立開業した昭和39年10月から、私の店を利用して下さり、いつも優しい言葉をかけて頂き、私を根っこから支えて下さった方が、柳さんの奥さんでした。私のロータリーの原点はここにあります。

さて、私は今年の7月に会長になりましたが、自分自身に4つの事を課題としてあげました。まず創立25周年記念事業の成功、2番目は当クラブよりガバナー補佐の選出、3番目に第9.10グループの親睦ゴルフ大会の事、最後に会員増強の事を、自分の仕事と課しました。

創立25周年記念事業では、田中克憲実行委員長を要に、歴代会長を実行委員とし、4つの部会には適材適所に優れた方々を部会長として配置し、万全な組織が出来上がりました。

2009年10月2日の記念式典当日には、友好クラブの藤沢南RC木村会長、川島幹事を始め計13名の方々に遠方よりお越し頂き、また、高城昭紀ガバナー、高木義和地区幹事、佐藤ガバナー補佐、濱本ガバナー補佐、各クラブの会長幹事と多くの方々にご出席頂きました。私共が記念事業と致しまして海星高校の吹奏楽部に楽器を寄贈し、富永校長、吹奏楽部顧問である福田先生、そして吹奏楽部の皆さんの演奏でお祝いをして頂きました。当クラブの皆さんの能力の高さと団結力が発揮され、周年事業は成功したと思っています。

また、記念誌については、ちょうどこの年NHKの大河ドラマで「龍馬伝」が始まり、龍馬に縁のある丸山の公園に銅像が建つと言う事で、その作者である小崎侃さんのところへ馬場さんと訪問し、版画と写真の掲載を快く承諾して頂きました。記念誌が出来上がるまでの構成等、川瀬記念誌部会長以下部会の皆様の努力で、素晴らしい1冊が完成致しました。

2番目のガバナー補佐選出では、西クラブの4名のチャーターメンバーの方々に選出を委ね、渡邊修志さんの男気により、2度目のガバナー補佐をお願いする事となりました。

3番目の第9.10グループ親睦ゴルフ大会では、当クラブにはゴルフのエキスパートが揃っていて、プレーをさせたらシングルという方、組み合わせ、賞品選びでは職業奉仕と言いながら完璧な仕事をしてくれた方の指導のもと、またゴルフをしない方々の力添えでうまく運営され、さらにプレーでは団体2位を頂き、これも皆さんの思いが終結し成功したのではと思います。

最後の会員増強ですが、私は必ず会員増強をやると一番力を入れており、会員増強プロジェクトチームを作り会員増強を目指しておりました。会員増強とは、会社にしてみれば売上げ増を図るという事です。そのためにはこのご時勢、自然に任せてはなかなか実績として上がって行きません。しかし、その相談を致しました先輩よりこの突拍子な計画を厳しく指摘され、頓挫してしまいました。そこで計画を方向転換し、旧会員、社長交代、新規の会員と、20名位をリストアップし、17名程にアタックしました。結果1名入会、3名保留(来年以降)、2名交渉中で、延長戦に持ち込んでも、次期の劉会長へ手渡し出来ればと思っておりますので、よろしくお願い致します。

また、今年は前例のない副会長制をお願いしました。多少異論もありましたが、江上さんには快く引き受けて頂き、安心して仕事の為に例会を休む事も出来ました。江上さんには一年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

最後になりましたが、私が無難に一年間をクリアできたのも、これも各理事の方々に各委員会の責任分担をしっかりと頂いた結果だと思っております。ノーコンピッチャーをガッチリ受け止めてくれた高木幹事、一年間本当にありがとうございました。また、未熟な私を陰からサポートして頂いた馬場さん、中田さん、心から感謝申し上げます。歴代の会長は、挨拶文の原稿を渡されていたのですが、なにせ文書を書く事が一番の苦手で、それをちゃんとフォローして頂き、なんとかこの一年過ごす事が出来ました。そんな私に西クラブ同志の寛容な心で一年間お付き合い頂き、心よりお礼申し上げます。本当のところ私の気持ちとしては9回裏で1点リードされているような気持ちです。反省と感謝の気持ちを込めて会長総括とさせていただきます。

ありがとうございました。

《新旧ガバナー補佐御挨拶》

【佐藤豊ガバナー補佐】皆様、こんにちは。久し振りに長崎西RCの皆様の笑顔にお会いできて嬉しく思います。ちょうど1年前のクラブアッセンブリーの時にご挨拶に参り、安永直前会長の事細やかな会長総括を覚えております。そのバトンタッチを受けられました三宅会長、高木幹事は、年に6回の会長幹事会、ガバナー公式訪問等々、立派にそのお役を果たされました。私はこの西クラブの皆様と一緒に奉仕の一端を担えた事を誇りに思っております。

次年度は渡邊ガバナー補佐の誕生で益々揚々としたものと思います。会員皆様のご協力でも周年事業も立派に果たされ、多くのクラブに対しお手本になったのではと思います。また、地区大会、IMへのご参加には心から感謝申し上げます。

ケニーRI会長は「ロータリーの未来はあなたの手の中に」と今年度のテーマを掲げられました。高城ガバナーもそのテーマに従って縦横無尽の働きをされましたが、社会情勢が厳しい中、ロータリーの果たす役割が益々重要になると思います。次年度は有田から高原ガバナー、第9グループからは渡邊ガバナー補佐が誕生致します。経験豊富な渡邊次期ガバナー補佐、劉会長以外始め皆様のご活躍で、第9グループのみならず2740地区に対し大きな励みになるのではと思います。また、一つ気がかりな事は会員の減少です。ここ十数年間日本のロータリーは毎年減っていると言う事で、とても大変な事です。第2740地区でも8年連続減少しています。今年度はなんとか現状維持で終わりたいと思っています。次年度は渡邊ガバナー補佐が就任されます。その記念すべき年度に、出来れば貴クラブの会員数がプラスに転じますように、また出来れば女性会員が誕生出来ればと思います。私もガバナー補佐のお役は外れますが、またメーキャップに訪れたいと思います。本当に1年ありがとうございました。

【渡邊修志次期ガバナー補佐】皆さん、こんにちは。いよいよ次年度が目前になって参りました。6月には新旧ガバナー補佐で、第9グループ6クラブを訪問して参りました。佐藤ガバナー補佐には色々ご指導も頂き、次年度から頑張る自信が湧いてきたように思います。また佐藤ガバナー補佐は、次期は地区の会員増強委員長としてご活躍頂きます。

私共々皆さまからの御支援を賜りたく、よろしくお願い致します。

